

2019 年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2201432	地域文化演習 Seminar of Regional Studies	西原 麻里	専門	2	選択	3年 前期

**科目の概要**

この授業では「地域文化研究」(2年生後期)で学んだ内容をふまえて、受講者自身が問題関心をもつ国内外のさまざまな地域の文化的特徴を研究する。地域文化や地域社会の課題へのアプローチ方法を学び、受講者自身が調査・分析・考察することで、地域の課題を把握しその解決を目指す。研究はグループもしくは個人で進める。また2回ほど、成果発表のプレゼンテーションを実施する。研究の進め方とプレゼンテーションの実施回数は受講者数によって変動することがある。

学修内容	到達目標
① 地域文化・地域社会の課題をみずから発見し、研究テーマを設定する。	① 地域文化・地域社会においてなにが課題とされているのかを把握し、研究テーマを設定することができる。
② 設定したテーマについて、フィールドワークや文献読解をつうじて考察を深める。	② フィールドワークや文献読解をおこない、積極的に調査・分析と考察を進めることができる。
③ プレゼンテーションによって研究成果を報告する。	③ 自分の研究成果を効果的にアピールすることができる。

**学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素**

**学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	常識や固定観念にとらわれず、自分が生きる地域文化・地域社会のあり様に興味をもつ。地域文化・地域社会の仕組みについて、予習・復習で自分なりに調べて考察する。
	働きかけ力	
	実行力	次週の授業テーマについて、フィールドワークや複数の文献を用いて調べる。
考え抜く力	課題発見力	地域文化・地域社会における課題を見つけ、研究テーマを設定する。予習・復習では積極的に文献で調べて考察する。
	計画力	
	創造力	地域文化・地域社会のさまざまな問題や課題について、授業で学んだ理論を活かして次のテーマを考案する。
チームで働く力	発信力	ディスカッションでの問いや授業中になげかけられる質問に答える。相手をおそれずに、疑問に思ったことや建設的な意見を発信する。
	傾聴力	一つの見方に固執せず、複数の意見を聞く。不明なところはかならず、教員や他の学生などの協力を仰ぎ解決する。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	予習・復習と授業におけるルールを守る。
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

テキスト: 授業内で適宜指示するほか、資料を配布・提示する。

**他科目との関連、資格との関連**

「地域文化研究」(2年生後期)。  
この授業で学んだことを「生活スタジオ」や「卒業研究」で実践できることが望ましい。

学修上の助言	受講生とのルール
授業ではディスカッションを中心に実施するため、そのための予習・復習を欠かさずおこなうこと。 授業時間は集中し、板書以外に口頭で説明する内容もしっかりメモやノートにとること。 疑問点は放置せず、教員に質問したり文献で自習したりして解決すること。	授業中の私語、居眠り、勝手な途中退出、授業に関係のない電子機器類の使用を禁止する。また、学則で定められた遅刻2回で欠席1回とみなす。 授業内で提示する予習・復習の課題にかならず取り組むこと。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験		①	
		②	
		③	
小テスト	30	①	✓
		②	✓
		③	✓
レポート		①	
		②	
		③	
成果発表 (口頭・実技)	60	①	✓
		②	✓
		③	✓
作品		①	
		②	
		③	
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓
		②	✓
		③	✓
総合評価 割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
<p>S: 地域文化・地域社会に関して設定したテーマにたいして積極的に研究を進め、プレゼンテーションで課題の解決と独自の見解を提示できる。同時に、ディスカッションで建設的な意見を出すことができる。</p> <p>A: 地域文化・地域社会に関して設定したテーマにたいして積極的に研究を進め、プレゼンテーションで課題の解決と独自の見解を提示できる。同時に、ディスカッションでなんらかの(感想以外の)コメントを出すことができる。</p>	<p>地域文化・地域社会に関して設定したテーマにたいして積極的に研究を進め、その成果をプレゼンテーションで提示することができる。</p> <p>※各回で提示する予習課題にかならず取り組み、その成果にもとづいてディスカッションできる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	イントロダクション 地域社会における課題を知る	ディスカッション 講義 質疑応答	授業内でのディスカッションに参加し、授業の内容をノートにとる。	(予習)地域文化・地域社会の特徴を調べる。 (復習)授業で提示した課題をおこなう。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性
2週 /	研究テーマの設定 地域文化・地域社会に関する研究テーマを設定する	ディスカッション グループで調査と討議、もしくは個人で調査と各自で討議	地域文化・地域社会に関する問題を把握し、適切な研究テーマを設定する。	(予習)授業でおこないたい研究テーマのアイデアを考える。 (復習)設定した研究テーマの問いを把握する。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性
3週 /	研究計画の提案(1) 研究を進めるための文献(先行研究)調査をおこなう	ディスカッション グループで調査と討議、もしくは個人で調査と各自で討議	研究テーマについて調べてきた文献の論点を整理する。	(予習)研究テーマに関連する文献を調べる。 (復習)文献の論点を整理し、先行研究の内容をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性
4週 /	研究計画の提案(2) 研究対象・フィールドを設定し、研究計画を立てる	ディスカッション グループで調査と討議、もしくは個人で調査と各自で討議	今後の研究計画を立てる。 グループでの役割分担や各自の To Do を把握する。	(予習)追加の資料や文献調査をおこなう。 (復習)文献の論点を整理し、先行研究の内容をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性
5週 /	フィールドワーク フィールドワークを実施し、調査と考察をおこなう	ディスカッション グループで調査と討議、もしくは個人で調査と各自で討議	フィールドワークによって各自で調査を実施し、内容を整理しまとめる。	(予習)フィールドワークのための事前準備をおこなう。 (復習)フィールドワークの結果をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性
6週 /	調査結果のまとめ フィールドワークと文献調査の結果をまとめ、プレゼンテーションの準備をおこなう	ディスカッション グループで調査と討議、もしくは個人で調査と各自で討議	フィールドワークと文献調査の結果を整理する。 プレゼンテーションに向けた準備をおこなう。	(予習)文献調査の結果と照合する。 (復習)プレゼンテーションに向けた準備をおこなう。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性
7週 /	プレゼンテーション(1) 地域文化・地域社会についての研究結果を報告する	プレゼンテーションと議論	設定した研究テーマについて、わかりやすいプレゼンテーションをおこなう。 積極的・建設的なコメントを出す。	(予習)プレゼンテーションに向けた準備をおこなう。 (復習)プレゼンテーションで出た課題を整理する。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性
8週 /	プレゼンテーション(2) 地域文化・地域社会についての研究結果を報告する	プレゼンテーションと議論	設定した研究テーマについて、わかりやすいプレゼンテーションをおこなう。 積極的・建設的なコメントを出す。	(予習)次の研究に向けた準備をおこなう。 (復習)プレゼンテーションで出た課題を整理する。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	研究内容のブラッシュアップ(1) プレゼンテーションとディスカッションで出た課題に取り組む	ディスカッション グループで調査と討議、もしくは個人で調査と各自で討議	1回目のプレゼンテーションで出た課題を解決するために研究計画を立てる。	(予習)調査した文献の論点をまとめる。 (復習)課題解決のための文献などを調査する。各自の To Do を整理し、追加の調査を進める。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性
10週 /	研究内容のブラッシュアップ(2) プレゼンテーションとディスカッションで出た課題に取り組む	ディスカッション グループで調査と討議、もしくは個人で調査と各自で討議	追加の調査を進め、その経過をまとめる。	(予習)調査した文献の論点をまとめる。 (復習)課題解決のための文献などを調査する。各自の To Do を整理し、追加の調査を進める。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性
11週 /	研究内容のブラッシュアップ(3) プレゼンテーションとディスカッションで出た課題に取り組む	ディスカッション グループで調査と討議、もしくは個人で調査と各自で討議	追加の調査を進め、その経過をまとめる。	(予習)調査した文献の論点をまとめる。 (復習)課題解決のための文献などを調査する。各自の To Do を整理し、追加の調査を進める。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性
12週 /	研究内容のブラッシュアップ(4) プレゼンテーションとディスカッションで出た課題に取り組む	ディスカッション グループで調査と討議、もしくは個人で調査と各自で討議	プレゼンテーションに向けた準備をおこなう。	(予習)各自の To Do を整理し、追加の調査を進める。 (復習)プレゼンテーションに向けた準備をおこなう。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性
13週 /	プレゼンテーション(3) 地域文化・地域社会についての研究結果を報告する	プレゼンテーションと議論	設定した研究テーマについて、わかりやすいプレゼンテーションをおこなう。 積極的・建設的なコメントを出す。	(予習)プレゼンテーションに向けた準備をおこなう。 (復習)プレゼンテーションで出た課題を整理する。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性
14週 /	プレゼンテーション(4) 地域文化・地域社会についての研究結果を報告する	プレゼンテーションと議論	設定した研究テーマについて、わかりやすいプレゼンテーションをおこなう。 積極的・建設的なコメントを出す。	(予習)プレゼンテーションに向けた準備をおこなう。 (復習)プレゼンテーションで出た課題を整理する。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性
15週 /	コンクレーション 研究成果全体をふまえて、地域文化・地域社会の課題を再検討する	講義 質疑応答	これまでに明らかになった地域文化・地域社会の課題を整理する。	(予習)これまでの研究成果をまとめる。 (復習)地域文化・地域社会の課題の解決に向けた、発展的な考察をおこなう。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力